先端光・電子デバイス創成学卓越大学院　フィールド・プラクティス実施計画書兼実施確認書

理学研究科、情報学研究科履修生用　　　　　　　　　　　　　　　　　　記入日　　　令和　　年　　月　　日

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名  (科目コード) | フィールド・プラクティス | | | | | | | |
| 履修学生氏名 |  | 学生番号 | |  | | 入学年度 | | 平成/令和　年度 |
| 所属・専攻 |  | 課程 | | 課程 | | 学年 | | D |
| 指導教員  (所属・職名） |  | | | | | | | |
| 派遣先：  (住所･連絡先) | (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) | | | | | | | |
| 派遣先担当者：  (所属･連絡先) | (　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　) | | | | | | | |
| 実施年度・  (実施時期) | 年度・（　期）  ～　　年度・（　期） | | 講義形態 | | 講義・実習・演習  （該当しないものを消去） | | | |
| 実施期間 | 年　　月　　日　　～　　年　　月　　日 | | | | | | | |
| 通算実施期間・  (内・派遣期間) | （　ヶ月：連続派遣・分割派遣通算） | | | | 総時間数  (備考参照) | | 時間/週×　　週  ＝　　時間 | |
| 研究テーマ |  | | | | | | | |
| 派遣理由・受入経緯・派遣経費等 | （派遣経費等については、その詳細を別紙様式にて添付すること） | | | | | | | |
| 実施方法  (最終目標等) | （派遣先と京都大学の双方で実施する場合など、その詳細を記載） | | | | | | | |
| 実施結果  （成果等） |  | | | | | | | |
| その他 | 添付資料など | | | | | | | |

（備考）：総時間数には、京都大学における関連する実習時間等を含めても良い。

（記入例）

先端光・電子デバイス創成学卓越大学院　フィールド・プラクティス実施計画書兼実施確認書

理学研究科、情報学研究科履修生用　　　　　　　　　　　　　　　　　　記入日　　　令和　2年 9月　1日

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名  (科目コード) | フィールド・プラクティス | | | | | | | |
| 履修学生氏名 | ○○　△△ | 学生番号 | | \*\*\*\*\*\*\*\*\* | | 入学年度 | | 平成/令和31年度 |
| 所属・専攻 | 理:物理学・宇宙物理学専攻 | 課程 | | 博士後期課程 | | 学年 | | D2 |
| 指導教員  （所属・職名） | ＊＊　＊＊（理学研究科物理学・宇宙物理学専攻・教授） | | | | | | | |
| 派遣先：  (住所・連絡先) | Scotland, Univ. of Aberdeen, Center for Applied Nonlinear Research:  (\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*) | | | | | | | |
| 派遣先担当者：  (所属・連絡先) | **Prof. \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\***, Director:  (\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*) | | | | | | | |
| 実施年度・  (実施時期) | 2020年度・（後期）  ～2020年度・（後期） | | 講義形態 | | 講義・実習・演習  （該当しないものを消去） | | | |
| 実施期間 | 2020年　10月　1日～2020年10月　22日 | | | | | | | |
| 通算実施期間・  (内・派遣期間) | ３週間  （3週間：連続派遣・分割派遣通算） | | | | 総時間数  (備考参照) | | 30時間/週×3週  ＝　90時間 | |
| 研究テーマ | ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | | | | | | | |
| 派遣理由・受入経緯・派遣経費等 | （派遣経費等については、その詳細を別紙様式にて添付すること）  共同研究の実験遂行  同センター所長の受け入れ者から共同研究のため、該当学生の研究滞在を打診された。すでに本件で昨年度訪問し、研究説明等を実施済み。  派遣経費の詳細は、別紙のとおり。 | | | | | | | |
| 実施方法  (最終目標等) | （派遣先と京都大学の双方で実施する場合など、その細を記載）  ＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | | | | | | | |
| 実施結果  （成果等） | ＊＊＊＊＊＊＊＊＊ | | | | | | | |
| その他 | 添付資料など　無し | | | | | | | |

（備考）：総時間数には、京都大学における関連する実習時間等を含めても良い。